

お互いさま

otagaaisama



理事長より新年のご挨拶

特集
第13回オールジャパンケア
コンテスト(AJCC)

介護の仕事の魅力を発信し地位向上へつなげたい

キラキラ働き人

介護老人保健施設さかい幸朋苑
森原 翼さん

介護老人福祉施設よなご幸朋苑
角 奈津希さん

シルバーステイ新砂
作田 明彦さん



恵みあい、助けあう



新年のご挨拶

2024年の新春を迎えるにあたり、
所感の一端を申し述べ、
ご挨拶に変えさせていただきます。

「笑う門には福来る」
お互いさまの地域づくりを



社会福祉法人こうほうえん
理事長 廣江 晃

地域コミュニティ再生の取り組み

2024年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、おおむねコロナ禍以前の生活を取り戻された方が多いのではないのでしょうか。介護事業者全体を見ても、引き続き適切な対策はとりつつも一部の対応が緩和されたことで、現場の負担も和らぎました。この数年で急速にICT化も進み、テレビ会議やスマートフォンを活用した業務効率化など、今後も積極的に推進したい考えです。

また一方で「失われたものをいかに取り戻すか」という課題も横たわっています。中でも、地域コミュニティの希薄化は大きな問題であり、実際に、在宅のご高齢者が、外出の機会が減って人とかかわりがなくなり、状態がかなり悪化してしまったり、というケースをたくさん目にしてきました。

そこで、地域のコミュニティを取り戻そうという取り組みがスタートし、その第一弾が昨年4月に米子市永江地区にオープンしたコミュニティセンター『りんRin』です。現在、同施設では地域とこうほうえんが一体となり、フレイル予防や交流の拠点を目指して多彩な取り組みがなされています。また、

10月には事業継承により『鳥取湖東地域包括支援センター』（鳥取市）も開設しました。こうした拠点づくりなどのコミュニティの再生を今年も継続して行っていく方針です。



（上）送迎や買い物支援に利用される、『りんRin』のグリーンスローモビリティ
（左）こうほうえんが運営する『エンジョイりんRIN』ではフレイル予防に注力



最新の技術や情報で
より上質な介護サービスを

介護の世界は日々進化しており、こうほうえんでは、より良い新しい技術や情報を積極的に取り入れています。昨年はフランス発祥の認知症の人に合わせた新しいケア方法「ユマニチュード」を導入し、現場での実践がスタートしました。ユマニチュードは「見る・話す・触れる・立つ」の4つの柱を通じて、「あなたを大切に思っています」という

メッセージを相手に伝えるコミュニケーション技術です。こうした新しい技術を取り入れて職員一人ひとりの成長を促し、より質の高いサービスの提供を努めてまいります。

職員に対しては、その健康を守ること重要な使命と考え、一昨年からスタートした「こうほうえん健康経営宣言」をより充実させていきたいと考えています。良いと思うことは積極的に取り入れて、誰もが笑顔で輝くことができる介護現場の実現を目指しております。

「こうほうえん 健康経営宣言」

こうほうえんは、職員とその家族の心身の健康がもっとも重要と考え、健康保持・増進活動に対して積極的な支援と組織的な健康づくりの推進に取り組みます。
また、利用者、地域住民と力を合わせ、健康で活力にあふれる「地域共生社会」の実現を目指します。

2022年4月1日
社会福祉法人 こうほうえん

職員と家族の心と身体の健康づくりに取り組んでいます

います。現在、地域包括ケアシステムの進化・深化が方向性の一つに示されており、医療や地域と連携して、より地域に寄り添ったサービスの提供が求められています。人口減少が進む中、介護を必要とする人をいかに減らすか、要介護状態をいかに短くするか、すなわち「予防」ですが、これは、単体で取り組むには限界があり、社会全体で取り組むべき問題です。みんなで手を取り合っ、住み慣れた場所で長く元気に暮らせる地域づくりを行うことは、まさに互恵互助の精神ではないかと思うのです。

最後に、「笑う門には福来る」とは言いますが、ご利用者、職員、地域の皆さまが笑顔で幸せになる運営を心がけ、また皆さまにとって2024年が良い年になることを祈念しております。

手を取り合い、笑顔の年に
介護業界にとって、2024年は介護報酬改定、また医療では診療報酬改定という、制度面の大きな変化が控えて



介護を担う人材として、優秀な外国人人材の存在も必要不可欠になっています

第13回オールジャパンケアコンテスト(AJCC)



第13回大会での外国人介護士部門の実技の様子。新しいなば幸朋苑のマグラサン・ボン・リアン・バラグヤさん(特定技能)



会場

板橋区立植村記念加賀スポーツセンター
植村直己氏の生誕80周年にあたる2021年に、植村氏の冒険精神を永く後世に伝える『植村冒険館』と、体育館などの運動施設を融合させてオープンした複合施設



各部門のブースに分かれて実技を披露し、その場で審査されます



「前夜祭」では選手、アドバイザー、関係者が交流を深めました



選手、アドバイザー、関係者が参加した、前日のオリエンテーション



- ①開会式での廣江研大会長の挨拶
- ②東洋大学福祉社会デザイン学部の早坂聡久教授による特別記念講演
- ③分野別で昼食をとりながらアドバイザー、選手で意見を交換
- ④表彰式・開会式。各分野の受賞者とともに



- ①、②分野ごとにシーンの設定があり、7分間の実技を披露しました
- ③大会後、飛行機の時間まで、理事長と会長が鳥取からの参加選手・関係者を労いました

SNS

第13回AJCCの
詳細はこちらから
ご覧いただけます！



HP



Instagram

介護の仕事の
魅力を発信し
地位向上へ
つながりたい

10年以上続く
介護技術の全国コンテスト

2023年10月、板橋区立植村記念加賀スポーツセンター(東京都)で第13回目の「オールジャパンケアコンテスト(AJCC)」が開催され、全国から集まった100名近い介護従事者が、選手として日頃の業務の成果を発揮しました。

AJCCは、全国の介護従事者を選手として募り、介護技能を審査する全国大会です。「認知症」「食事」「入浴」「排泄」「看取り」「口腔ケア」「外国人介護士」の各分野で課題に応じた介護技能を大会会場で披露し、専門のアドバイザー2名が助言と審査を行います。このうち、外国人介護士以外の分野では、実務経験年数5年以上のA部門、5年未満のB部門に分けられます。2010年に第1回大会が開催され、翌年の第2回大会から、こうほうえんが主体となつて年1回開催し、今では全国規模の大きな大会に成長しました。廣江研大会長は、当初は大会が成功するの

お話を聞いた人



オールジャパンケアコンテスト
大会長 廣江 研さん

1986年に社会福祉法人こうほうえんを設立。現・こうほうえん会長。明治大学山岳部の同期である冒険家・植村直己氏と親交があり、同氏の遺難時に捜索隊の隊長を務めた。

疑問があったと振り返ります。「介護というのは、百人百色。ご利用者、介護従事者それぞれで対応が異なりますから、標準化することや画一的に点数をつけるのは非常に難しいと感じました」と当時の思いを語ります。

こうほうえんが中心となり
全国規模の大会に成長

一方で、2000年にスタートした介護保険制度が、11年の法改正で地域包括ケアシステムの実現を打ち出し、次のステージに進んだ時期にも重なりました。「介護のあり方の議論が全国的に進み、大会も回数を重ねることに標準化され、次第に全国から参加者が集まるようになりました」

第9回大会までは鳥取県内で開催し、2019年の第10回記念大会は東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。「東京での開催となると、こうほうえん単体での主催は負担が大きかったので共催してくれる団体を募ったところ、介護業界大手3社が手をあげてくれました。また、

参加者同士の交流が大きな刺激に

参加選手にとって、AJCCは自分の技能を披露し、第三者に評価してもらう大会であると同時に、全国の介護従事者と交流し、学びを深め合うことができる場でもあり、大きな刺激になっています。大会前日の懇親会では、食事を楽しみながら参加者同士で打ち解けて、ネットワークを広げることも、参加者の楽しみの一つです。「より多くの全国の人に目指してもらうために、地区大会を開催して、上位の人が東京で披露するような、それくらいの規模の大会にしたいですね」と廣江大会長の第13回大会では、「養成校学生分野」として学生は動画投稿で参加しましたが、介護を学ぶ学生たちにとって、高校野球の甲子園のような全国大会にしたいとも考えています。「介護の仕事は、夜勤があつて肉体的労働」というイメージを持つ人は多いかもしれませんが、介護器具の進化やICT化によって昔とはかなり違います。AJCCでプロの技術のすばらしさを発信し、介護は職業として、一生の仕事として魅力があることを知ってもらい、「なりたい仕事」に当たり前に介護の仕事が入ってほしいのです。AJCCが介護業界の発展と地位向上に貢献できるように、今後も大会運営に努めてまいります」

第13回「オールジャパンケアコンテスト(AJCC)」受賞者

2023年10月15日に全国の介護従事者が集まり技能を競う「第13回オールジャパンケアコンテスト(AJCC)」が板橋区立植村記念加賀スポーツセンター(東京都)で開催されました。全国から96名の参加者が集まり、こうほうえんの職員2名が優秀賞、1名が奨励賞に輝きました。



AJCC出場を
きっかけに
自分の強みを
再発見

プロフィール
シルバーステイ新砂

さくた あきひこ
作田 明彦さん

長年働いていた製版会社で整理解雇され、雇用保険を利用して介護専門学校に入学。卒業後、2011年にこうほうえんに就職し、小規模多機能を経てグループホームに8年ほど勤務。3年前にシルバーステイ新砂に異動する。

奨励賞

看取り A部門

※A部門(実技経験年数5年以上)



受賞を支えた
多職種の
先輩方からの
アドバイスを

プロフィール
介護老人福祉施設
よなご幸朋苑

すみ なつき
角 奈津希さん

境港市出身。小学生の頃、介護の勉強をしていた親戚の影響で興味を持ち、高校で介護を専攻。高校の実習やボランティア先がこうほうえんだったことや、地域に貢献したいとの思いから2021年に入職した。

優秀賞

排泄分野 B部門

※B部門(実技経験年数5年未満)



技術を競う
だけじゃない。
切磋琢磨と
交流の場

プロフィール
介護老人保健施設
さかい幸朋苑

もり はら つばき
森原 翼さん

大阪府出身。2019年に祖父母の実家があった境港市に1ターン。祖父の最期を看取ってくれた、こうほうえんの精神に強く共感して入職する。さかい幸朋苑に介護士として勤務しながら、境港市の移住促進にもかかわる。

優秀賞

認知症 B部門

※B部門(実技経験年数5年未満)

傾聴で心のケアを
私が働くシルバーステイ新砂(東京都江東区)は「緊急ショートステイ」と言つて、65歳以上の江東区民であれば、どなたでも利用できる施設です。仕事内容は一般的な介護と同様、入浴、排せつ、食事のケアなどですが、ご利用者はさまざまな事情を抱えている方が多く、寂しさや不安などを聞き、心のケアを意識しています。

自分の棚卸で強みに気づく
AJCCへの出場は職場からのすすめでしたが、分野を自分で選べたので、まず自分の棚卸をして強みを考えることにしました。20代、40代と病気や挫折を味わい、未だに自信が持てずにいるが、裏を返せば、自分に似た弱い立場の人の気持ちを敏感に察知し、話を聞くことで喜んでもらっていると気づきました。それならばと、「聴く」

経験を積むための挑戦
よなご幸朋苑は明るくてアットホームな職場。入職当時は急に社会に出てわからないことばかりの中、優しく指導していただきました。今回AJCCに出場したのは、法人からの打診がきっかけです。同じくらいのキャリアで、周りにもっと技術の高い人はたくさんいるので遠慮したのですが、「これも一つの経験だよ」とすすめられて「やってみよう」と出場しました。

大会で得た刺激と気づき
私が入職した時は、コロナ禍で対面の研修がなかったので、今大会で県外の方と交流し、他の方のケアを見ることができたのは大きな経験でした。いろいろな人からたくさん意見を聞き、私の知っていることはほんの序の口で、これからたくさん経験を積みみたいと刺激になりました。実技では、事前に先輩を

ご利用者は方言の先生
私が働く介護老人保健施設は、ご利用者の在宅復帰を目指す施設です。介護、医療、リハビリなどの専門職が連携するので、さまざまな知識を吸収できる環境でもあります。また、ご利用者は私にとって方言の先生。お互いに与え合う関係が心地良いです。

心を動かすケアを意識
今回、AJCCの認知症分野B部門(実技経験年数5年未満)で優秀賞をいただき、大変光栄に思います。当初は「介護技術を競う」ことに違和感を覚えました。大会を通じて全国の介護従事者と交流し、切磋琢磨できたことは本当に良い経験でした。大会ではご利用者の方がいて、設定されたシーンで7分間の実技を披露します。設定は事前に知らされていますが、練習して作り込むのではなく、当日の



姿勢が問われる「看取り分野A部門」に出場したわけです。大会直前まで綿密に準備したものの、前日になって「演技することは本質ではないのでは」と、相手役の方と対面した時に湧き出る言葉や対応を大切にしようとして決断。結果として賞をいただけただけのこと、そしてここに至るプロセスは自信につながり、変化が苦手な私が、変化を恐れない気持ちを少し持てるようになったと感じます。



はじめ多くの方がアドバイスをくれました。最初は、やはり本番ではそううまくはいきませんでした。優秀賞を受賞して「まさか自分が」と驚きの気持ちでいっぱいですが、多職種の方からの教えのおかげで受賞ができたことから感謝します。自分が先輩の立場になった時に、同じように後輩の力になれるよう実力をつけ、自分もご利用者も笑顔になる介護を目指していきたいです。



ご利用者の方に「自分は何ができてのかわからない心動かしてもらったことを意識し、それを評価してもらったことを嬉しく思います。」
つくづく、介護の仕事は「ご利用者にどう笑顔になつてもらおう」というポジティブな思考で働ける贅沢な仕事だと思えます。今回、小さな町でも全国に認められる質の高いケアを追求できると思える。多様なニーズに対応できる一層励みたいです。

令和5年9月26日、第18回高齢者福祉実践・研究大会「アクティブ福祉in東京'23」（社会福祉法人東京都社会福祉協議会、東京都高齢者福祉施設協議会、アクティブ福祉 in 東京実行委員会主催）が、京王プラザホテルで開催され、弊法人のうきま幸朋苑から参加の幸村優美さん（作業療法士）、持吉孝郎係長（理学療法士）が科学的介護の実践・生産性向上の取り組み分野で優秀賞を受賞しました！！

【主題】手すり付きターンテーブル導入によりトイレ排泄の安全性向上と介助者の負担軽減を目指した研究

この大会は、日頃の介護現場での取り組みや実践、施設全体での研究や個人・グループによる研究など、小さな発見から大きな実践まで施設でのさまざまな取り組みを学会形式で発表するための大会で、全5分野（口演発表：42題）の発表がありました。

幸村優美さんのコメント…「アクティブ福祉in東京」とは、高齢者福祉の研究大会で毎年40題前後の口演発表があります。今回4年ぶりのリアル開催で、法人研究発表会で報告した研究について、更に介助姿勢へ着目した調査を行った内容を発表しました。研究内容をまとめる途中や準備段階では「どのようにしたら伝わりやすいか」を重点的に考えていたため、優秀賞をいただけたということは「伝わった」のかなと思うと嬉しいです。そして、検証や見慣れない福祉用具について、「やってみよう」と言ってくれる現場の職員に感謝を伝えたいと思います。今後も利用者・介助者双方にやさしいケアを目指して取り組みを続けていきます。

持吉孝郎係長のコメント…うきま幸朋苑での課題に対する取り組みをこのような発表会で発表ができたこと、評価していただいたこと大変、光栄に思っています。課題抽出については、毎月ノーリング推進委員会で集計している「抱え上げない移乗介助達成度表」の分析により本研究テーマである中等度介助（足の踏みかえができない）を要するご利用者のトイレ支援を抽出することができました。また本研究にあたり、販売メーカーより検証期間の福祉用具の無償提供・情報共有・相談など、施設を超えた連携の重要性を実感することができました。今後も問題点に対する検証を重ね、もっとよくできないかという気持ちを常に持って職員・ご利用者が安心して活動できる環境作りに取り組んでいきたいと考えます。



表彰状

**「アクティブ福祉in東京'23」
についての情報はこちらから**

第18回高齢者福祉実践・研究大会
「アクティブ福祉in東京'23」
[https://www.tcsw.tvac.or.jp/
bukai/kourei/taikai/active2023.html](https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/taikai/active2023.html)



「アクティブ福祉in東京'23抄録集」
[https://www.tcsw.tvac.or.jp/
bukai/kourei/taikai/
2023-active-shouroku.html](https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/taikai/2023-active-shouroku.html)



寄付者 一覧

※令和5年9月～令和5年11月にご寄付をいただいた皆さま

心温まるご寄付を賜り、深くお礼申し上げます。皆様から賜ったご寄付は、ご厚志に沿い「地域貢献事業」として使わせていただいております。

- 株式会社D・I・P 代表取締役 伊藤由子様 / 111,000円 ●新砂建老会 会長 滝沢幸子様 / 3,000円 ●水野商事株式会社 代表取締役 水野治郎様 / 30,000円
- 株式会社山陰合同銀行 米子西法人部 部長 村上尚一様 / 10,000円 ●奥田雅裕様 / 50,000円 ●その他19件
- <よなごエリア> ●三上勲様 <北東京エリア> ●長瀬明代様 / 砂場用玩具15セット ●(株)アクティブコーポレーション / クリスマスカード100枚、その他文房具等
- <西東京エリア> ●個人様(地域住民)9名 / かけはしまつりバザー品 ●個人様(地域住民)6名 / かけはしまつりバザー品 ●個人様(サ高住ご入居者・ご家族)15名 / かけはしまつり近隣中学生向けのお菓子等 ●サ高住ご入居者1名 / 1万円(かけはしまつり) <南東京エリア> ●新砂建老会 会長 滝沢幸子様 / 3,000円 ●新砂建老会 会員 滝沢登様 / 3,000円

寄付金合計額：217,000円

ボランティア 一覧

※令和5年9月～令和5年11月にご参加いただいた皆さま

貴重な時間をいただき、厚くお礼申し上げます。

- <さかいエリア> ●歌・演奏…角バンド4名 ●習字…境公民館長 ●納涼祭のボランティア…境港総合技術高校3名 ●「みなとガーデン」整備…境港総合技術高校7名
- <よなごエリア> ●話し相手・関わり…米子市ボランティアセンター体験事業2名、米子市ボランティアセンター2名 ●食事準備、車椅子掃除等…米子東高・米子西高8名 ●秋祭り…こうほうえん大漁太鼓6名、光長真理子様他1名(歌謡コンサート)、島根大学1名、旗ヶ崎公民館銭太鼓同好会5名、米子北高4名 ●草取り…米子市ボランティアセンター2名 ●コーヒー喫茶…瀧様 ●生け花ボランティア…野本様
- 古典落語と楽器の演奏・歌…奥田様と友人2名
- <なんふエリア> ●利用者と一緒に花を生ける…3名 ●花を生ける…2名 ●生け花…齊木明子様 ●ファッションショー…米子南高16名
- 軽作業・読み聞かせ、読み語り・交流…秋鹿英美子様 ●軽作業・傾聴…小松佳子様 ●行事サポート…佐藤陽子様、斉木ルミ子様、尾原稔枝様、秋鹿英美子様、勝部尚子様、足羽恵美子様、梅木恭美様
- 地域交流会サポート…石田喜和子様、斉木ルミ子様、仲田みどり様、西山直子様、尾原稔枝様、高橋登美子様、佐藤陽子様、里道恵子様、勝部尚子様 ●踊り…五千石友の会5名
- <いなばエリア> ●コミュニケーション…3名 ●文化祭…ウクレレ美代子様(ウクレレ演奏)、戸田様(マジックショー)
- <北東京エリア> ●利用者支援・販売手伝い…目白大学2名 ●園児おはなし会…東京家政大学学生おはなしサークル10名
- おはなしかい…おはなしチャチャチャ6名 ●リトミック…薄井くるみ様 ●お茶出し・傾聴…桜が丘高1名、目白大学2名、池間美々杏様 ●お茶出し・配膳・傾聴…渡邊淑子様、帝京大学看護3名
- 傾聴・将棋…和田徹様 ●フラダンス…Oha-ohana4名 ●ハンド&フットマッサージ・メイク…ミライプロジェクト41名 ●読み聞かせボランティア…すまいる北11名
- <西東京エリア> ●植栽活動・かけはしまつり準備…地域住民・サ高住ご入居者24名 ●かけはしまつり…地域住民・サ高住ご入居者・演者100名、近隣2カ所の郵便局長2名、上板橋第二中吹奏楽部・ご家族25名、ひとはなサロン4名、SDGsいたばしネットワーク2名、明治安田生命4名、練馬ボイスカウト5団18名、コーシャハイム向原自治会4名、大谷口おとしり相談センター3名
- <南東京エリア> ●保育手伝い(掃除、絵本の読み聞かせ等)…聖心女子大3年(インターンシップ)1名、武蔵野大1年(品川ボランティアセンター)1名、実践女子大3年(インターンシップ)3名、荏原第五中2年(職場体験)6名、伊藤学園3年(職場体験)8名 ●ハンドマッサージ等…プラチナ美容塾8名 ●フラダンス披露・指導…ご家族他6名 ●昼食作り…クックデリ(株)3名 ●だれでも食堂手伝い…徳永啓子様 ●フラワアレンジメント…4名
- ピアノ演奏…山田様、他3名 ●フルート演奏…職員徒妹1名、フレリスコンサート3名 ●三味線とマジックの披露…三味線・マジックの会1名 ●アイリッシュハーブ演奏…坂上様、他1名 ●歌謡・演奏の披露…ハートフル4名



法人本部事務局

〒683-0853
鳥取県米子市両三柳1400
TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113
フリーダイヤル:0120-418-658
E-mail:welfare@kohoen.jp

東京事業本部

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-3-7KSビル203号室
TEL:03-3365-1331 FAX:03-3365-1339



2014年度日本経営品質賞大規模部門
(鳥取地区/介護)受賞



こうほうえんはISO9001-2015
(品質マネジメントシステムの国際規格)を
認証取得しています



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
おもてなし経営企業に選定されました



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
ハイサービズ日本300選に選定されました

詳しくはHPへ



こうほうえん 検索
<https://www.kohoen.jp>